

事業名	富士山総合保全対策推進事業費	財務コード (事業)	371004
-----	----------------	---------------	--------

細事業名	富士山美化啓発清掃活動費補助金
------	-----------------

担当部課室	観光 部 観光資源 課 富士山山岳 担当 (内線)	4306
-------	---------------------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 S55 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(財)富士山をきれいにする会・富士山及び周辺美化推進協議会)		
事業の目的	誰(何)を対象に 富士山(五合目周辺及び七〜八合目の登山道)、富士北麓周辺地域	その対象をどのような状態にして 美化が保たれている。	結果、何に結びつけるのか 富士山の自然環境、美しい景観の保全
	富士山及び周辺地域において美化清掃活動による環境保全を目的として設立された「(財)富士山をきれいにする会」「富士山及び周辺美化推進協議会」に対する美化清掃事業への補助。 ○事業内容 富士山登山道(五合目周辺、七〜八合目)及び富士五湖周辺等の清掃活動、ゴミの搬出、富士北麓市町村及び企業への清掃活動用ゴミ袋配布 ○補助先: (財)富士山をきれいにする会、富士山及び周辺美化推進協議会 ○補助率 1/2以内 ○補助対象 美化清掃活動に係る経費(ゴミの回収、搬出・処理等)		
事業の内容 ※主に23年度			
根拠法令等	富士山美化啓発清掃活動費補助金交付要綱		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 ・富士山クリーン作戦参加者数(五合目周辺)前期+後期 ・富士山及び周辺美化推進協議会清掃活動延べ人数(七〜八合目) 活動指標達成率(実績値/目標値)	2,170人	2,200人	2,350人	2,300人	2,300人	目標設定の考え方 過去の実績を参考とした。
	延べ326人	延べ330人	延べ366人	延べ360人	延べ360人	データの出典等 補助金実績報告書
			%			
成果指標 ・富士山クリーン作戦ゴミ回収量(五合目周辺)前期+後期 ・富士山及び周辺美化推進協議会ゴミ回収量(七〜八合目) 成果指標達成率(実績値/目標値)	699kg	650kg	649kg	650kg	650kg	目標設定の考え方 平成23年度の実績に基づき目標を設定した。
	1,390kg	1,400kg	1,170kg	1,200kg	1,200kg	データの出典等
			%			
決算額、予算額 (千円) うち一財額	1,470		1,470	1,470	1,470	成果指標によらない成果
所要時間(直接分)	50 時間		50 時間	50 時間	50 時間	クリーン作戦や清掃活動への参加者数やゴミの回収量については、悪天候等により左右されるため年度により増減はあるが、クリーン作戦等を継続的に実施することにより富士山の環境保全の必要性・重要性への理解が深まり、世界文化遺産への登録に向けて富士山のイメージアップにつながっている。
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間	
所要時間計	50 時間		50 時間	50 時間	50 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	101		101	101	101	

III これまでの事業の見直し・改善状況

<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度に富士山の美化清掃事業への補助事業として「(財)富士山をきれいにする会」「富士山及び周辺美化推進協議会」に対する補助事業を一本化。 平成22年度より、富士山周辺美化協議会は消耗品等の経費の削減を図り、補助額130,000円を減額した。(10%減)

IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合に記入すること 富士山クリーン作戦参加者数は、実績値(2,350人)が目標値(2,200人)を上回っており(106.8%)、予定どおりの活動量がある。 富士山及び周辺美化推進協議会清掃活動延べ人数は、実績値(366人)が目標値(330人)を上回っており(110.9%)、予定どおりの活動量がある。
	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること 五合目周辺のゴミ回収量は、目標値650kgに対し、実績値649kgであり、達成率99.8%であった。また富士山(七～八合目)のゴミ回収量は、目標値1,400kgに対し、実績値1,170kgであり、達成率は83.6%であった。よって意図した成果を上げている。 クリーン作戦や清掃活動への参加者数やゴミの回収量については、悪天候等により左右されるため年度により増減はあるが、クリーン作戦等を継続的に実施することにより富士山の環境保全の必要性・重要性への理解が深まり、世界文化遺産への登録に向けて富士山のイメージアップにつながっている。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	IV以外の 判断項目
無		

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	IV以外の 判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
現行どおり	

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。